ワールドスクールネットワーク 2002**年**9月18日

(1)概要・・1

子どもたちが、自らの体験をもとに、発見や意見を、ブラウザ画面に直接書き込むことで、他の仲間と情報を共有し、大きな視点で学習を進める。

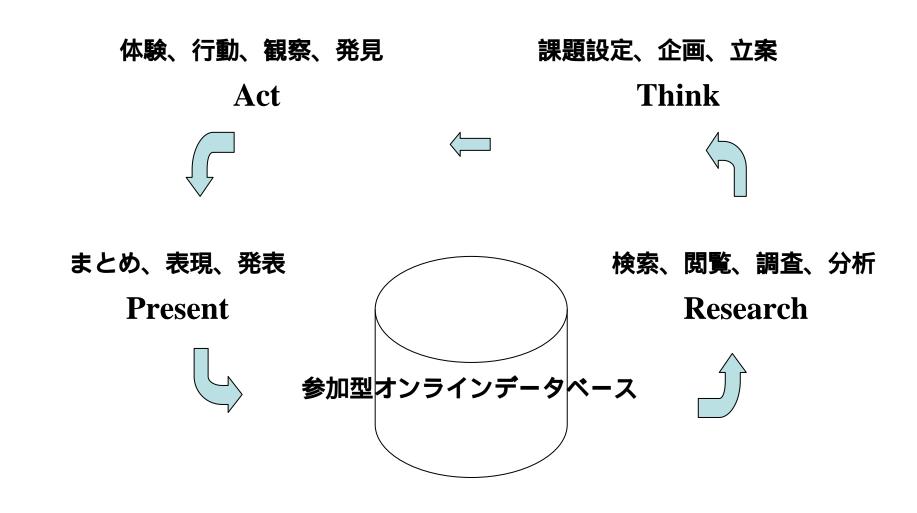
利用する| | コープ・ネットワーク・データベース

学習の姿 = 体験+コミュニケーション

有効性 = 開かれた視野 + 主体的な取り組み

汎用性 = 多様な教科、総合学習で利用可能

(1)概要・・2



(2)目的・ねらい

・ 子どもたちが、IT技術そのものを習得する<u>負担を最小限</u>にし、ITを活用した<u>情報の発信と共有</u>を通じて、主体的な学びを提供できる基盤を整備し、 その実践を通じてITを活用した教育の実践モデルを提示する。

目標

- 柔軟に構造を設定できる拡張性の高いシステムを構築する
- それを活用した授業の実践例を積み上げ、効果的な使用法、ノウハウを得る

• 課題

- 子どもが容易に利用することができるインターフェース
- 学校現場から利用しやすいシステムの設定
- 実際の授業に効果的に組み込む教育手法の追求

(3)実施体制

プロジェクト連絡会(支援=総合調整)

責任者・三重野康委員長 担当者:早稲田GITI=富永、岡 田、WSN=藤村、加藤、GM研= 大前

指導、助言、調整

早稲田大学国際情報通信 研究センター(GITI)

(支援部隊=システム構築、実践授業への指導、助言)

責任者 富永義英所長

担当者 岡田隆行調査役

ワールドスクールネットワーク (実践部隊)

責任者 大前純一運営委員

デザインチーム

(実践=実践授業の 企画、立案、連携) 担当者

廣川伸一(京都教育 大学附属桃山中学校 教諭)ら 評価チーム (支援=**評価担当**)

担当者 藤村裕一・鳴門教育大 学大学院助教授ら 基盤提供

株式会社グローバルメディア研究所(GM研) (支援部隊=プロジェクト進行、システム構築運営)

責任者 大前純一代表取締役

連携・協力

費 連携・協力

実践授業校 (実践=実践授業の実施)

新潟県・中之島町立 上通小学校

(担当者:加藤敏浩教諭)

連携・協力

実践授業校 (実践=実践授業の実施)

栃木県・河内町立 岡本北小学校

(担当者:大西誠教諭)

実践授業校 (実践=実践授業の実施)

岡山県・久世町立 樫邑小学校

(担当者:片山一生教頭)

(4)自己評価の方法

- •実践授業を通じた評価を実施
 - 児童に対する実践授業前後のアンケート調査をもとに、教育効果を分析
 - 指導者向けに、インターフェースやシステム機能について調査し、分析
- (例)新潟県・中之島町上通小学校3年での教育効果の評価案
 - 実践授業の実施時間:総合的な学習の時間
 - 授業内容:まわりの人をよろこばす知恵を探そう (ワールドスクールネットワークの環境特派員グレッグの報告をもとに)
 - アンケート項目:
 - •活動目標(事前記入)
 - •くみ取ったこと
 - •考えたこと
 - •話す聞くの目標(事前記入)
 - •その達成度
 - •次の活動目標

(5)成果について

「参加型オンラインデータベースによる体験学習」という学習・授業モデルの実例を成果として提示することで、ITの有効性、可能性を明らかにする。

プロジェクトの成果

- 「参加型」を実現するためのシステム基盤
 - サーバー環境や各種エンジンの有効な組み合わせ
 - インターフェース
 - スクリプトなど
- 授業を実践するための工夫、ノウハウ
 - 指導案
 - 適応性の高い科目、学年
 - 体験学習との組み合わせ方など

成果物の形態

- 指導案、ノウハウなどを収集した印刷物としての報告書
- 新たに開発するスクリプトー式

(6)成果の普及方法

- システム基盤
 - オープンソース方式で広くスクリプトを提供
 - システム構成、運用法などを公開

- 学習・授業モデル
 - 実践例をウェブサイトで継続して公開
 - 国際シンポジウム実施(2003年2月)
 - ワールドスクールネットワークの内外の参加団体を通じて実践を継続
 - 日本のほか、米国、イスラエル、香港、ミクロネシア連邦など